

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

[平成28年10~12月期の景況/平成29年1~3月期の見通し]

宇部市内における中小企業の業況は、前期より低迷状態にある

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景気動向等を把握するため、2016年7~9月期の実績と2016年10~12月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲2.9%の微減となった。業種別では製造業が前回の▲15.8%から21.71%へ、卸売業は5.26%から21.05%へ飛躍的に回復した。小売業は▲26.3%から▲16.3%へと回復し、建設業は▲11.1%、サービス業においては▲20.0%へと悪化するという結果となった。

来期の新規設備投資については、8.4%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業と小売業で「従業員の確保難」が2期連続で上位となり、人手不足感が強い結果となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

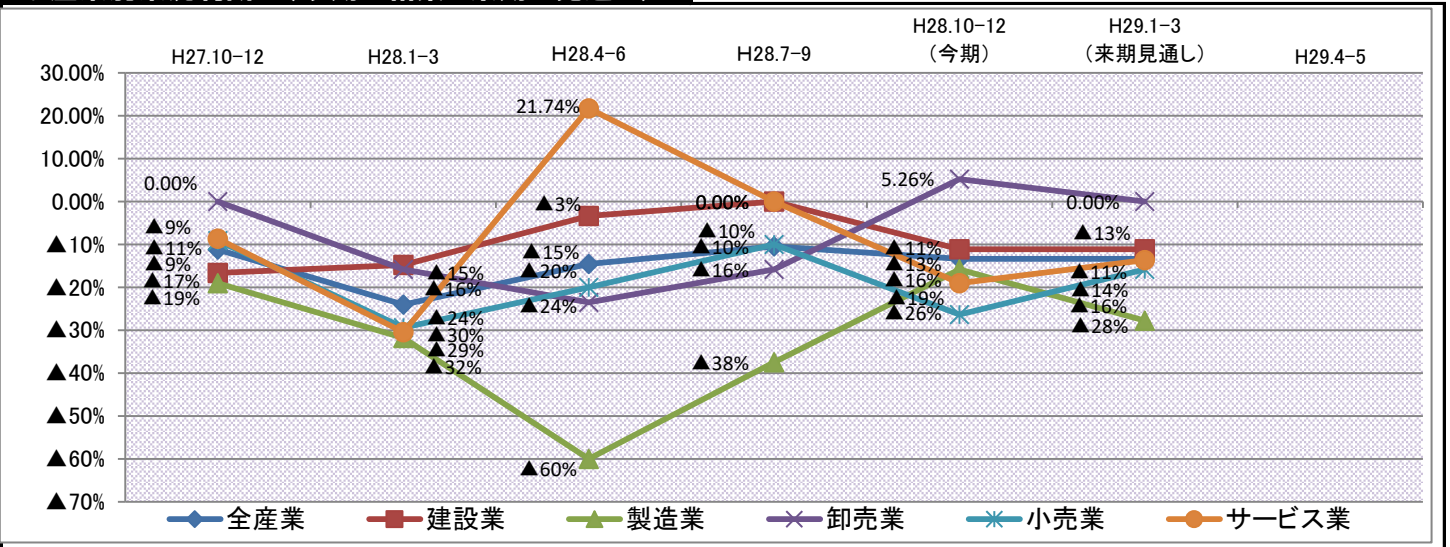
DATE

- 調査期間: 2016年11月28日~12月6日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業143社
- 有効回答企業数: 107社(74.83%)

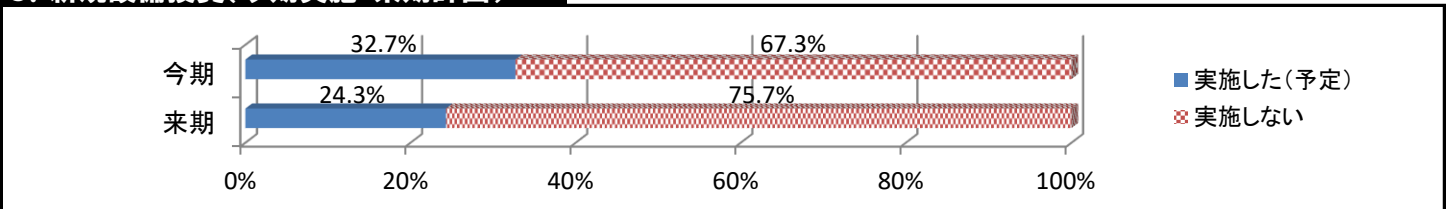
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲13.3%	▲2.9%	▲11.4%	6.33%	▲6.6%	▲3.8%	▲9.5%	1.80%	▲10.4%	▲7.5%
建設業	▲11.1%	▲11.1%	▲25.9%	▲14.8%	▲7.7%	▲15.1%	▲18.5%	▲18.5%	▲11.1%	▲11.1%
製造業	▲15.8%	21.71%	▲26.3%	12.57%	▲15.8%	1.86%	▲21.1%	23.39%	▲10.5%	▲21.6%
卸売業	5.26%	21.05%	22.22%	48.54%	21.05%	15.79%	15.79%	21.05%	▲5.3%	0.00%
小売業	▲26.3%	▲16.3%	▲15.0%	0.00%	▲15.0%	0.00%	▲15.8%	▲5.8%	▲21.1%	▲9.9%
サービス業	▲19.0%	▲19.0%	▲4.8%	▲0.4%	▲13.6%	▲13.6%	▲4.8%	▲0.4%	▲4.5%	4.15%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 24.3%	需要の停滞 23.6%	販売単価の低下・上昇難 18.0%	従業員の確保難 18.2%	利用者ニーズの変化への対応 20.8%
2位	下請業者の確保難 16.2%	製品(加工)単価の低下・上昇難 20.0%	需要の停滞 16.0%	消費者ニーズの変化への対応 12.7%	熟練従業員の確保難 15.1%
3位	官公需要の停滞 13.5%	生産設備の不足・老朽化 12.7%	大企業の進出による競争の激化 10.0%	販売単価の低下・上昇難 12.7%	人件費の増加 11.3%
4位	民間需要の停滞 13.5%	従業員の確保難 10.9%	従業員の確保難 10.0%	需要の停滞 10.9%	従業員の確保難 11.3%